

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **IDWR**

東京都感染症情報センター

---

# 東京都感染症週報

2011年第21週  
(5月23日～5月29日)

- \* 2011年6月1日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「眼科感染症における留意点」も  
掲載しています。

平成23(2011)年6月2日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

# 全数把握対象疾患 報告数 2011年21週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				全国(診断週)		
		18週	19週	20週	21週	年累計	21週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎		1			1		1
	結核	42	77	61	69	1,793	429	11,147
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1 鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ						1	2
	細菌性赤痢	2	2	2		21	1	80
	腸管出血性大腸菌感染症		4	3		31	49	515
	腸チフス	1		1		2		5
	パラチフス			1		8		12
四類	E型肝炎		1			6		28
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		2		1	16		122
	エキノコックス症					1		10
	黄熱							
	オウム病					1		7
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							3
	つつが虫病				1	8	12	81
	デング熱			1		12	1	38
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱				1	1	5	8
	日本脳炎					1		1
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							2
マラリア		1		1	9	1	23	
野兔病								
ライム病					2		2	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	3	1	2	21	7	208	
レプトスピラ症					3		5	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		18週	19週	20週	21週		21週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	3	4	1	66	4	302
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			3		14	2	91
	急性脳炎 *2					7	1	141
	クリプトスポリジウム症					2		3
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		9		46
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2	1	18	4	96
	後天性免疫不全症候群	3	8	5	11	163	10	519
	ジアルジア症	1				5		26
	髄膜炎菌性髄膜炎	1				1	1	5
	先天性風しん症候群							
	梅毒	4	5	5	2	74	8	258
	破傷風		1	1		3	2	39
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1	22
	風しん		2	1	3	13	13	150
麻しん	13	16	19	11	134	18	281	
2011/6/1集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 69件** 肺結核 28件、その他の結核 39件、肺結核及びその他の結核 2件、年齢10代 4件、20代 10件、30代 18件、40代 11件、50代 10件、60代 4件、70代 4件、80代 6件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 66件、国内及び中国 1件、インド 1件、中国及び米国 1件であった。

#### 〈三類感染症〉

三類感染症の報告はありませんでした。

#### 〈四類感染症〉

**A型肝炎 1件** 患者で、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。  
**つつが虫病 1件** 患者で、年齢は50代、推定感染地は国内(宮城県)であった。被災地にて土木作業歴があり、このときに感染を受けたと推定されている。  
**日本紅斑熱 1件** 患者で、年齢は30代、推定感染地は国内(大阪府)であった。  
**マラリア 1件** 患者で、年齢は40代、病型は熱帯熱、推定感染地はリベリアであった。  
**レジオネラ症 2件** 肺炎型2件、年齢は70代 2件、推定感染地は国内 1件、メキシコ 1件、推定感染経路はそれぞれ水系感染(銭湯) 1件、塵埃感染 1件であった。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 1件** 腸管アメーバで、推定感染地はタイ、推定感染経路は性的接触(異性間) 1件であった。  
**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** B群で、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。  
**後天性免疫不全症候群 11件** 無症候キャリア 6件、AIDS 5件(うち1件は死亡が確認)、無症候キャリアの年齢は20代 3件、30代 1件、40代 2件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 4件、推定感染地は国内 9件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 10件(異性間 2件、同性間 7件、詳細不明 1件)、不明 1件であった。  
**梅毒 2件** 無症候梅毒 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 1件、推定感染地はいずれも国内、推定感染経路は性的接触(詳細不明) 1件、その他(不明) 1件であった。  
**風しん 3件** 臨床診断例 3件、年齢は10代 1件、30代 1件、50代 1件、推定感染地は全て国内、風しん含有ワクチン接種歴は、接種なし 1件、不明 2件であった。  
**麻しん 11件** 検査診断例 7件、臨床診断例 2件、修飾麻しん 2件、年齢は5歳未満 3件、10代 5件、30代 2件、40代 1件、推定感染地は全て国内、麻しん含有ワクチン接種歴は、接種なし 5件、1回接種 4件、2回接種 1件、不明 1件であった。

## 定点把握対象疾患 報告数 2011年21週

定点種別	対象疾患	2011年					報告医療機関数	定点医療機関数
		18週	19週	20週	21週	定点あたり		
小児科	RSウイルス感染症	11	10	13	17	0.07	261	264
	咽頭結膜熱	56	87	108	126	0.48		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	390	660	741	868	3.33		
	感染性胃腸炎	1,488	1,878	1,817	1,740	6.67		
	水痘	284	403	422	452	1.73		
	手足口病	14	18	32	41	0.16		
	伝染性紅斑	115	183	230	164	0.63		
	突発性発しん	109	176	178	188	0.72		
	百日咳	7	6	11	8	0.03		
	ヘルパンギーナ	8	14	17	32	0.12		
	流行性耳下腺炎	65	102	96	78	0.30		
	川崎病(注1)	2	4	7	5	0.02		
	不明発しん症(注1)	13	28	32	29	0.11		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	566	308	202	94	0.23	412	419
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0.00	37	39
	流行性角結膜炎	24	16	11	20	0.54		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	1	0	1	1	0.04	23	25
	無菌性髄膜炎	0	0	1	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	11	5	4	10	0.43		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2011/6/1集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・咽頭結膜熱の定点あたりの報告数は増加した。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたりの報告数は3週連続して増加した。過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・水痘の定点あたりの報告数は6週連続して増加した。
- ・手足口病の定点あたりの報告数は増加したが、全国と比べると緩やかな増加である。

### (定点医療機関からのコメント)

11保健所管内の医療機関からインフルエンザ迅速キットB型陽性が引き続き報告されています。

大田区保健所管内定点医療機関

- ・水痘:幼稚園や保育園で流行しています。接種済みで罹患しているお子さんもいますが、軽症ですんでいます。

世田谷保健所管内定点医療機関

- ・咽頭結膜熱以外のアデノウイルス陽性1名。
- ・眼の症状がないアデノウイルス陽性1名。
- ・おう吐症が多い。
- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス陽性2名。

中野区保健所管内定点医療機関

- ・RSウイルス感染症:0歳児(月齢3ヶ月)。兄弟が数日前から鼻咽頭炎症状があり、本人は一晩で発熱と細気管炎様症状が一気に増悪しました。

荒川区保健所管内定点医療機関

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:流行しています。
- ・感染性胃腸炎:病原性大腸菌O1、O6各1名。

板橋区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス陽性2名。カンピロバクター属菌陽性1名。病原性大腸菌O1、O74各2名。O20 1名。

南多摩保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:再び増加してきました。

多摩立川保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス陽性2名。

多摩小平保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス陽性1名。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2011年21週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	5	2	1	18	6			4		
～11か月	3	7	2	133	19	4	1	67		3
1歳	4	28	30	216	53	16	3	104	2	7
2歳		15	38	174	62	11	15	9		2
3歳	4	24	97	201	78	2	19	2		7
4歳	1	16	108	196	82	5	28	1		5
5歳		8	134	126	65	1	21	1		1
6歳		9	132	108	38	1	25			
7歳		4	93	107	16		24			2
8歳		6	73	65	11	1	10			
9歳		3	46	55	7		6		1	
10～14歳		3	71	145	13		7			2
15～19歳			5	19					1	
20～29歳		1	38	177	2		5		4	3
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	17	126	868	1740	452	41	164	188	8	32
先週比	4	18	127	-77	30	9	-66	10	-3	15

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月			2			
～11か月		2	7			
1歳	2	1	4	1		2
2歳	3	1	7	1		
3歳	13		1	6		1
4歳	11	1		7		
5歳	11		1	13		1
6歳	6			4		
7歳	7			13		
8歳	8		1	6		
9歳	8		1	4		
10～14歳	8		3	15		
15～19歳			2	5		2
20～29歳	1			4		2
30～39歳				6		2
40～49歳				6		5
50～59歳				1		3
60～69歳				1		2
70～79歳				1		
80歳以上						
合計	78	5	29	94		20
先週比	-18	-2	-3	-108		9

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

### 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2011年21週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		3
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		3
15～19歳	1	2
20～29歳		
30～39歳	1	2
40～49歳		1
50～59歳	1	
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	3	11

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2011年21週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田			3	9						
中央区			3	3	12					
みなと	1	5	18	26	6	3	9	3		
新宿区	2	1	17	15	12		2	4		3
文京			15	12						
台東			11	24	2		1	2		
墨田区		2	12	12	17		1	7		
江東区		7	35	87	8	2	6	8	3	3
品川区			22	40	6	4	3	4		1
目黒区		1	10	22	2	2		2		
大田区	5	14	28	137	36	6	15	9	1	3
世田谷	1	7	46	118	22	2	10	5		1
渋谷区			3	19	4		3	5		
中野区	1		15	34	4	3	1	3		1
杉並		1	30	49	7	1	7	9		2
池袋		2		18	1	1		1	1	
北区			8	35	5		1	2		1
荒川区	1	5	22	35	7	1		3		
板橋区	1	4	12	41	7	1	10	5		
練馬区		4	66	80	20	1	5	7		1
足立		8	49	92	8	2	3	10		2
葛飾区		1	10	68	6	3	2	7		2
江戸川		12	59	85	32	4	8	10		3
八王子市		10	72	150	49	1	10	10		
町田市		1	71	78	45	1	3	11	1	
西多摩		5	13	45	16		4	4		1
南多摩		3	32	91	16		13	11		4
多摩立川	5	6	27	73	18		6	5		
多摩府中		6	68	143	50	3	19	29	1	3
多摩小平		20	91	99	34		22	12	1	1
島しょ		1								

東京都合計	17	126	868	1,740	452	41	164	188	8	32
-------	----	-----	-----	-------	-----	----	-----	-----	---	----

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2011年21週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			1	1		
中央区	1					1
みなと	1			2		
新宿区			1	1		
文京				2		2
台東				3		
墨田区	1		2	1		
江東区	4	1	1			3
品川区						1
目黒区						1
大田区	5		2	1		
世田谷	2		4	11		2
渋谷区	1					1
中野区				2		
杉並	2		1	6		1
池袋	1			1		
北区	3					
荒川区	1		1	4		1
板橋区			4	1		
練馬区	4	2	1	12		1
足立	1	1		7		
葛飾区	6		1			
江戸川	1					
八王子市	8		1	11		1
町田市	6		5	12		
西多摩				5		1
南多摩	13			2		
多摩立川	2			7		
多摩府中	8	1				2
多摩小平	7		4	2		2
島しょ						

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京	1	
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		1
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		1
荒川区		
板橋区		1
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		7
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川	1	
多摩府中		
多摩小平	1	1
島しょ		

東京都合計	78	5	29	94	-	20
-------	----	---	----	----	---	----

東京都合計	3	11
-------	---	----

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2011年21週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田			1.00	3.00						
中央区			1.00	1.00	4.00					
みなと	0.17	0.83	3.00	4.33	1.00	0.50	1.50	0.50		
新宿区	0.25	0.13	2.13	1.88	1.50		0.25	0.50		0.38
文京			5.00	4.00						
台東			2.75	6.00	0.50		0.25	0.50		
墨田区		0.40	2.40	2.40	3.40		0.20	1.40		
江東区		0.78	3.89	9.67	0.89	0.22	0.67	0.89	0.33	0.33
品川区			2.75	5.00	0.75	0.50	0.38	0.50		0.13
目黒区		0.20	2.00	4.40	0.40	0.40		0.40		
大田区	0.38	1.08	2.15	10.54	2.77	0.46	1.15	0.69	0.08	0.23
世田谷	0.06	0.44	2.88	7.38	1.38	0.13	0.63	0.31		0.06
渋谷区			0.75	4.75	1.00		0.75	1.25		
中野区	0.14		2.14	4.86	0.57	0.43	0.14	0.43		0.14
杉並		0.10	3.00	4.90	0.70	0.10	0.70	0.90		0.20
池袋		0.40		3.60	0.20	0.20		0.20	0.20	
北区			1.14	5.00	0.71		0.14	0.29		0.14
荒川区	0.25	1.25	5.50	8.75	1.75	0.25		0.75		
板橋区	0.10	0.40	1.20	4.10	0.70	0.10	1.00	0.50		
練馬区		0.31	5.08	6.15	1.54	0.08	0.38	0.54		0.08
足立		0.62	3.77	7.08	0.62	0.15	0.23	0.77		0.15
葛飾区		0.13	1.25	8.50	0.75	0.38	0.25	0.88		0.25
江戸川		1.00	4.92	7.08	2.67	0.33	0.67	0.83		0.25
八王子市		0.91	6.55	13.64	4.45	0.09	0.91	0.91		
町田市		0.13	8.88	9.75	5.63	0.13	0.38	1.38	0.13	
西多摩		0.63	1.63	5.63	2.00		0.50	0.50		0.13
南多摩		0.33	3.56	10.11	1.78		1.44	1.22		0.44
多摩立川	0.38	0.46	2.08	5.62	1.38		0.46	0.38		
多摩府中		0.30	3.40	7.15	2.50	0.15	0.95	1.45	0.05	0.15
多摩小平		1.33	6.07	6.60	2.27		1.47	0.80	0.07	0.07
島しょ		1.00								

東京都	0.07	0.48	3.33	6.67	1.73	0.16	0.63	0.72	0.03	0.12
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

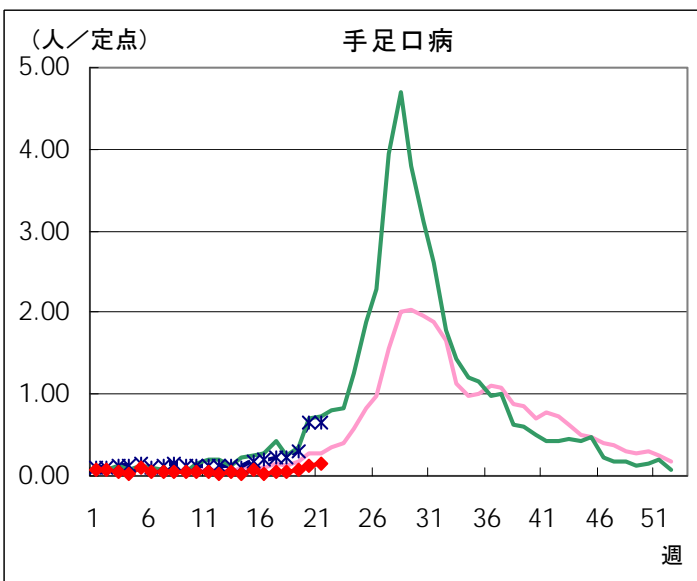
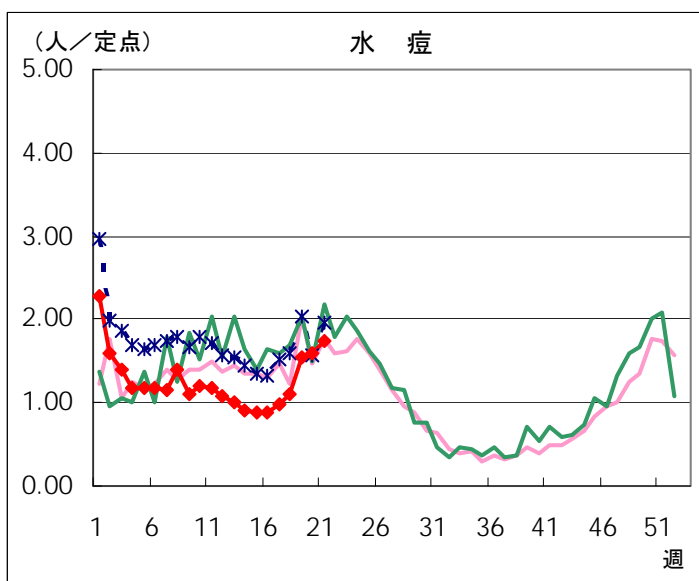
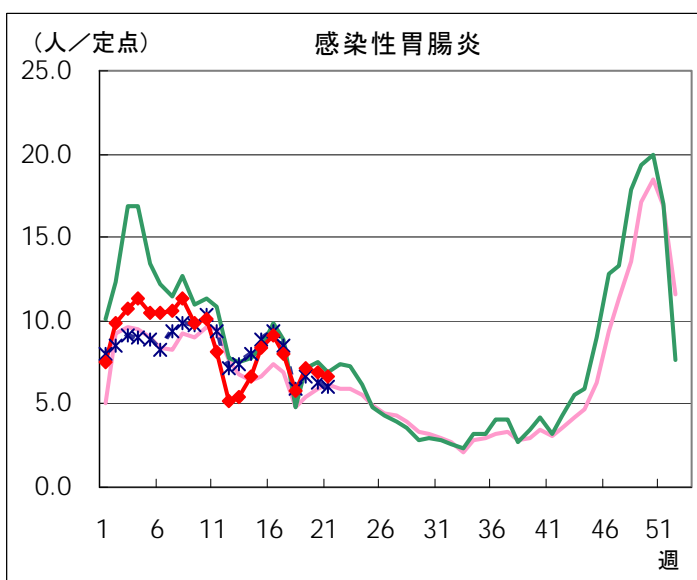
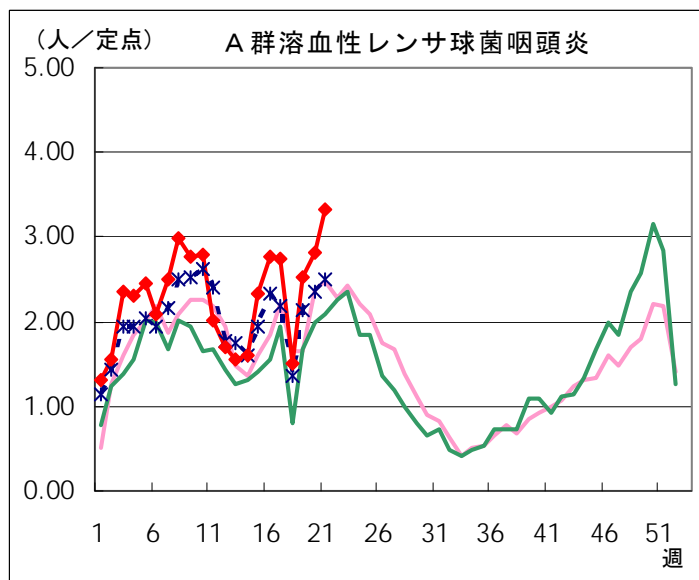
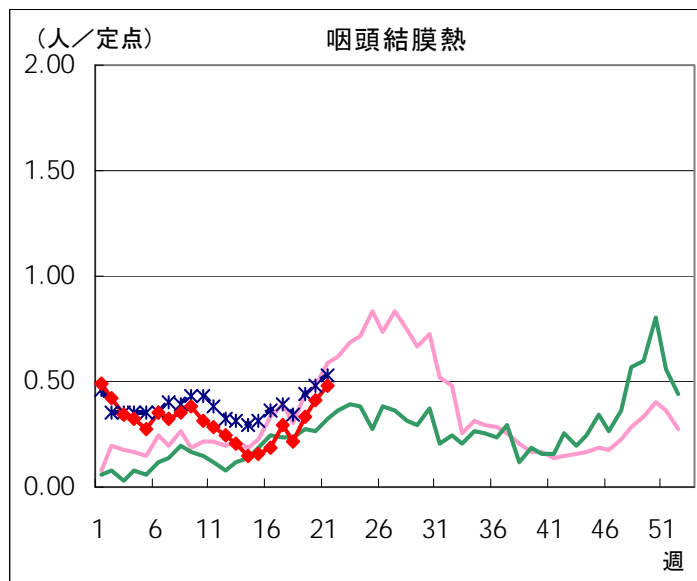
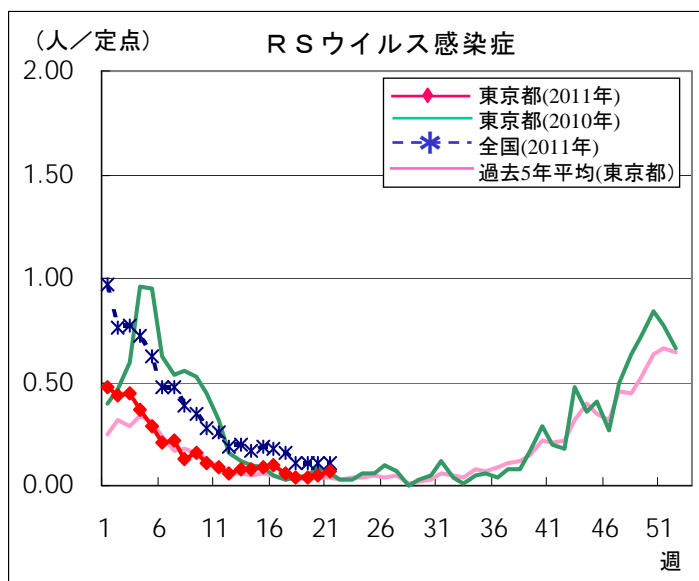


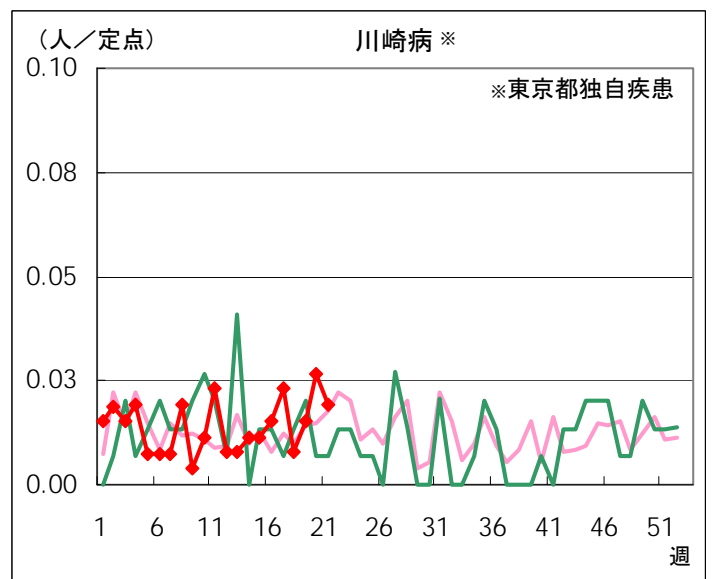
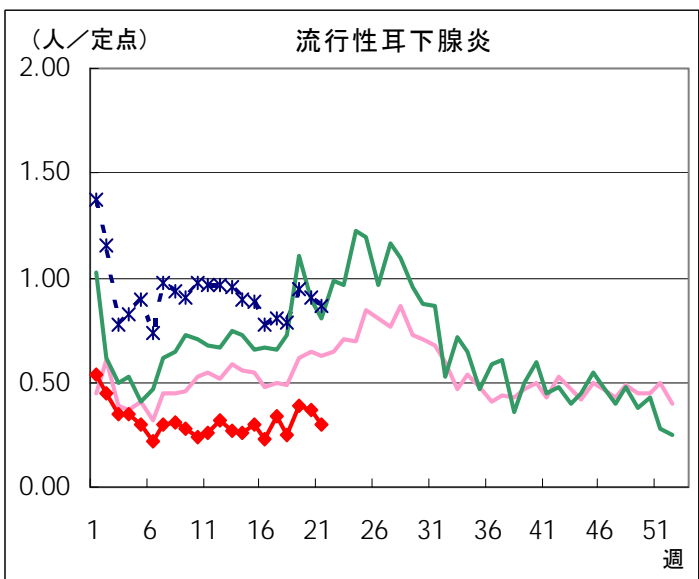
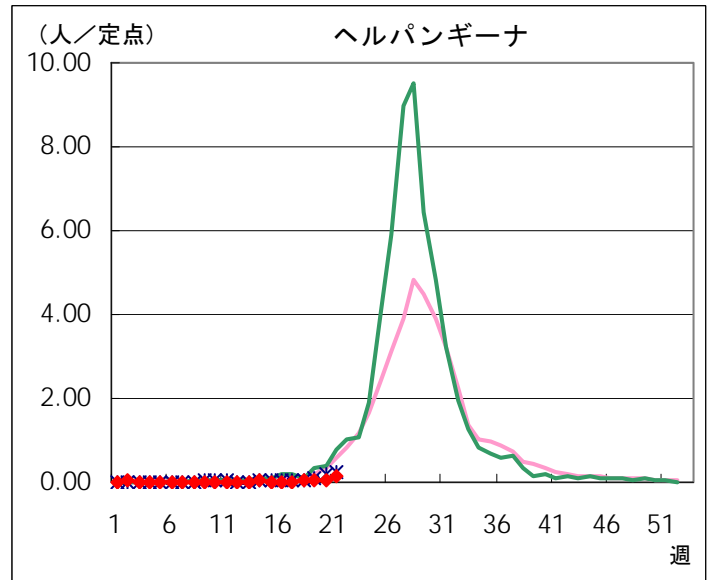
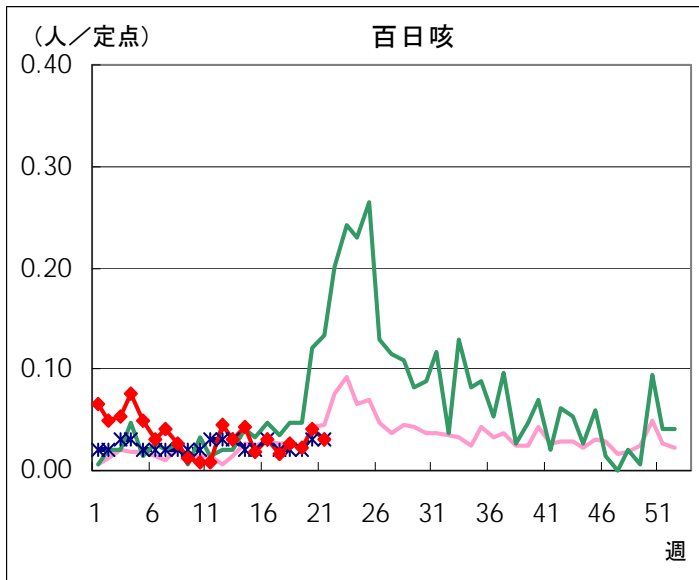
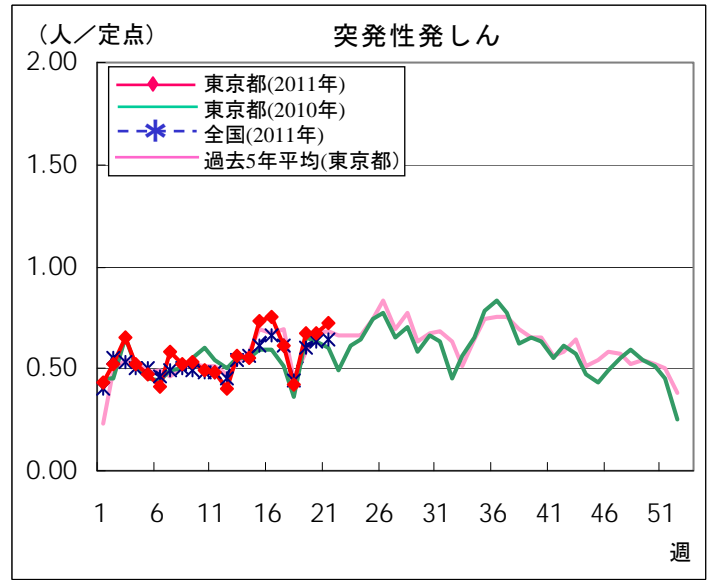
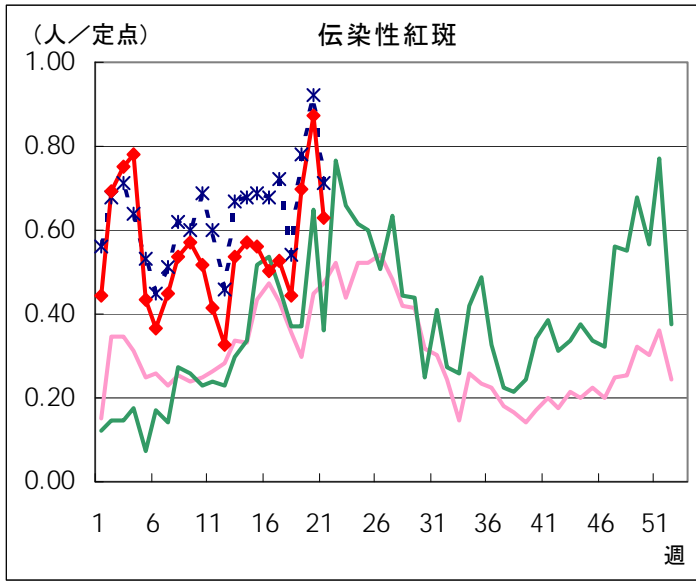
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			0.33	0.25		
中央区	0.33					1.00
みなと	0.17			0.22		
新宿区			0.13	0.08		
文京				0.33		2.00
台東				0.43		
墨田区	0.20		0.40	0.13		
江東区	0.44	0.11	0.11			3.00
品川区						1.00
目黒区						1.00
大田区	0.38		0.15	0.05		
世田谷	0.13		0.25	0.44		1.00
渋谷区	0.25					1.00
中野区				0.18		
杉並	0.20		0.10	0.38		1.00
池袋	0.20			0.13		
北区	0.43					
荒川区	0.25		0.25	0.57		1.00
板橋区			0.40	0.06		
練馬区	0.31	0.15	0.08	0.57		0.50
足立	0.08	0.08		0.35		
葛飾区	0.75		0.13			
江戸川	0.08					
八王子市	0.73		0.09	0.61		0.50
町田市	0.75		0.63	0.92		
西多摩				0.36		1.00
南多摩	1.44			0.14		
多摩立川	0.15			0.35		
多摩府中	0.40	0.05				1.00
多摩小平	0.47		0.27	0.09		1.00
島しょ						

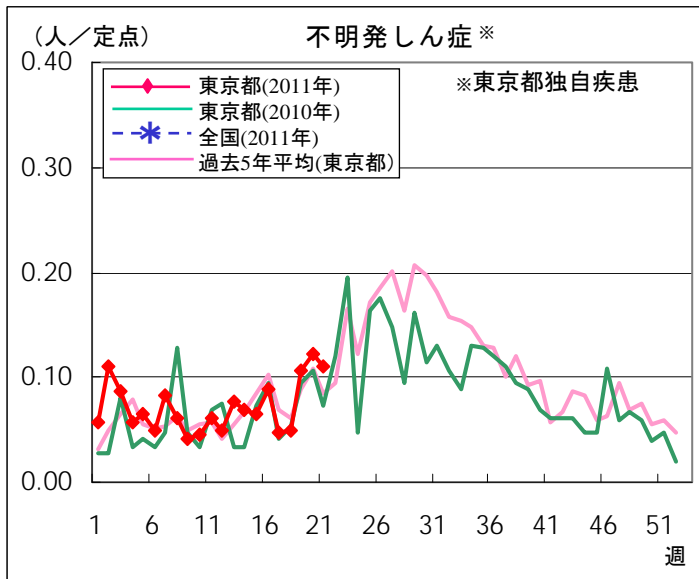
東京都	0.30	0.02	0.11	0.23	-	0.54
-----	------	------	------	------	---	------

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2011年21週現在

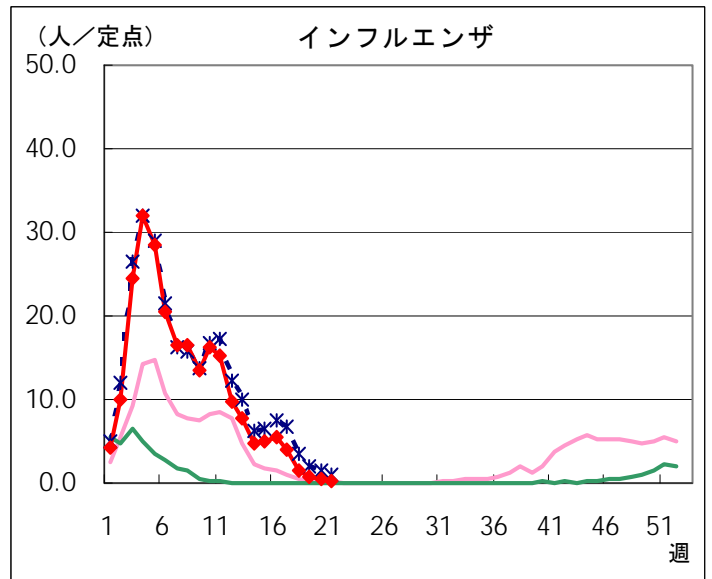
## ◆ 小児科定点



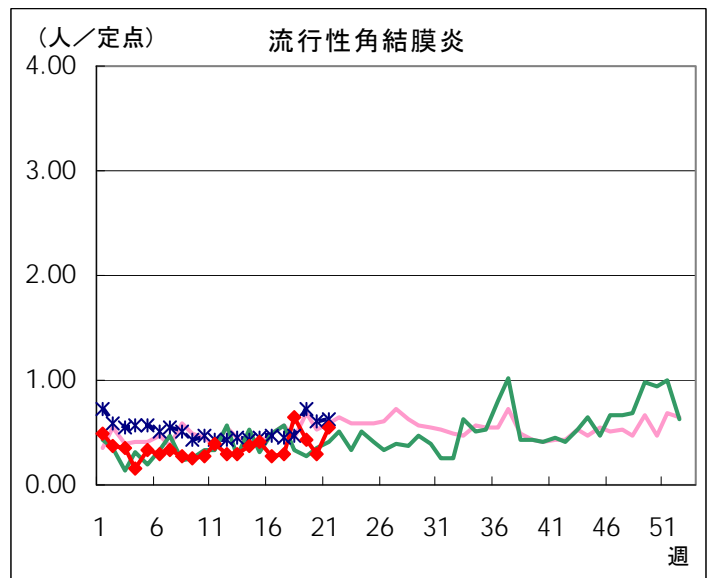
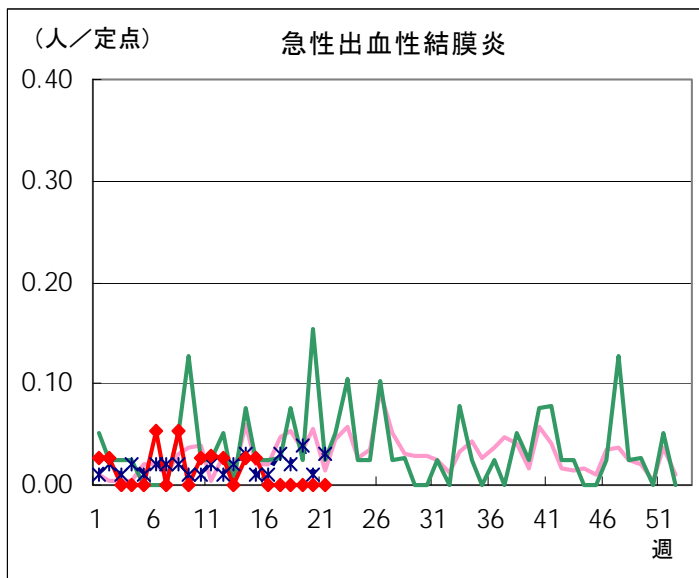




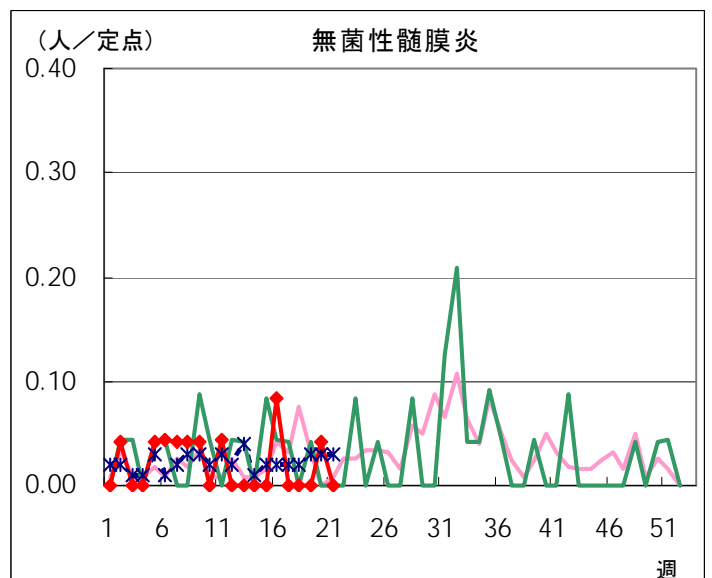
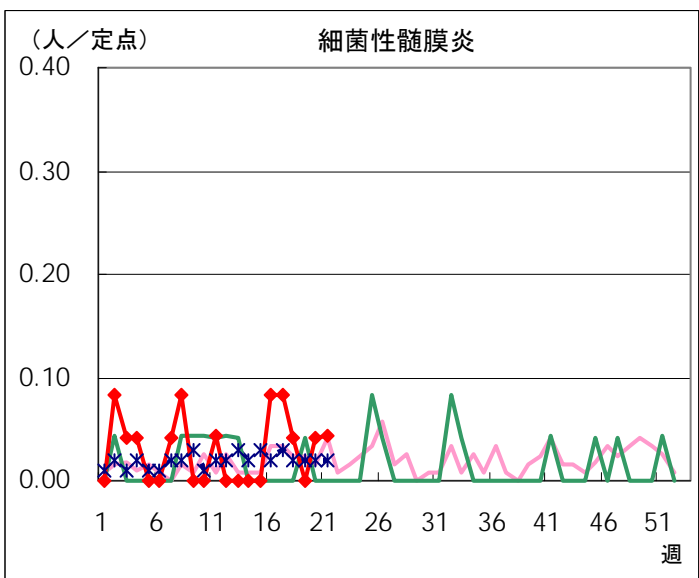
◆ インフルエンザ定点

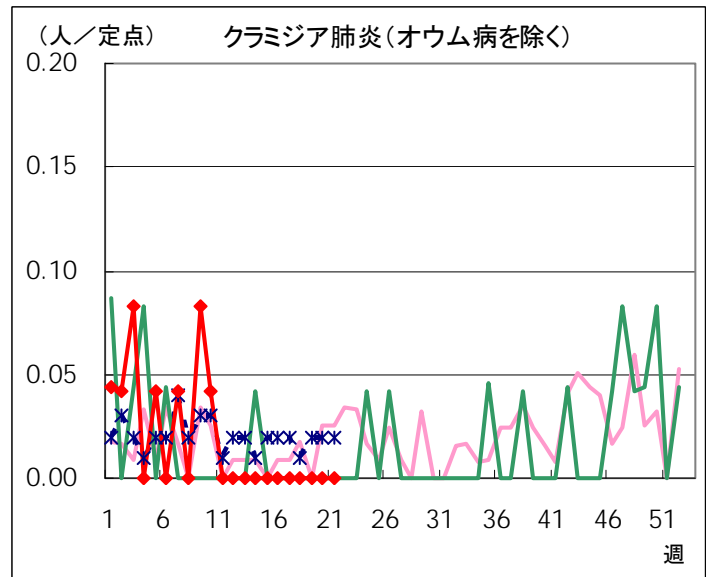
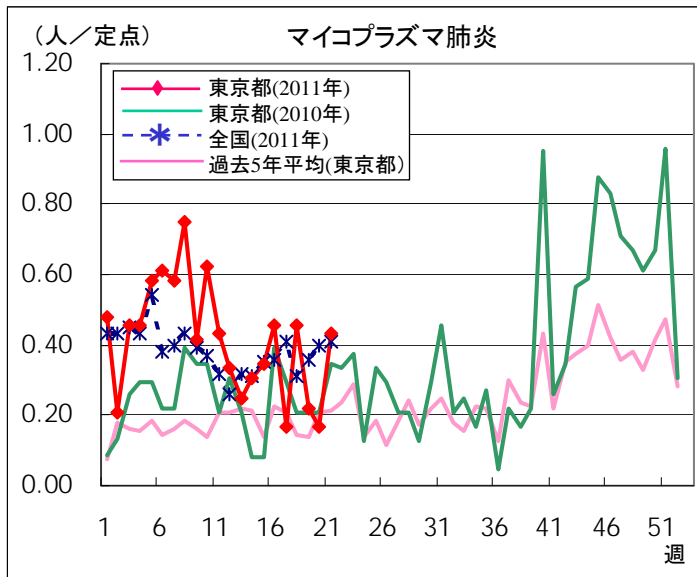


◆ 眼科定点

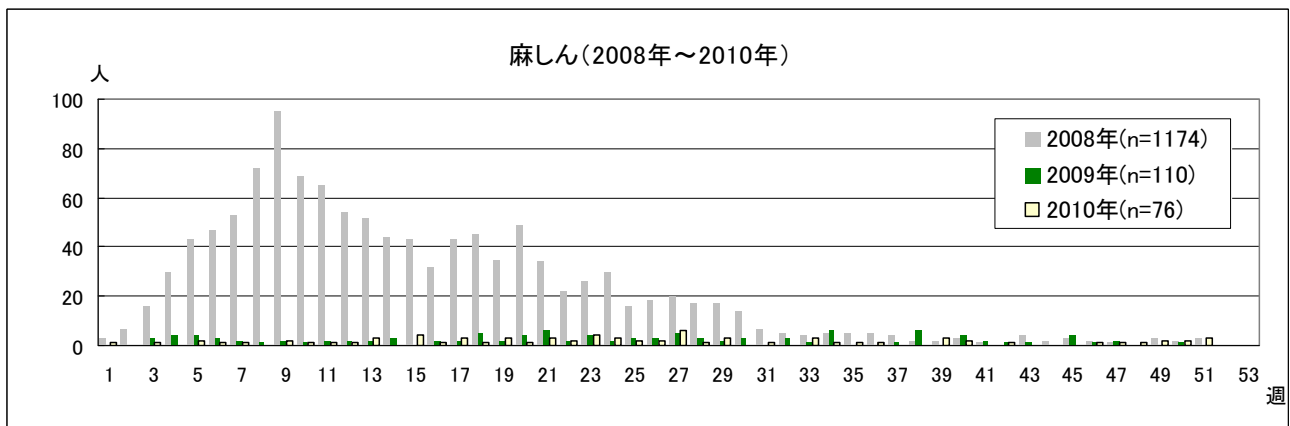
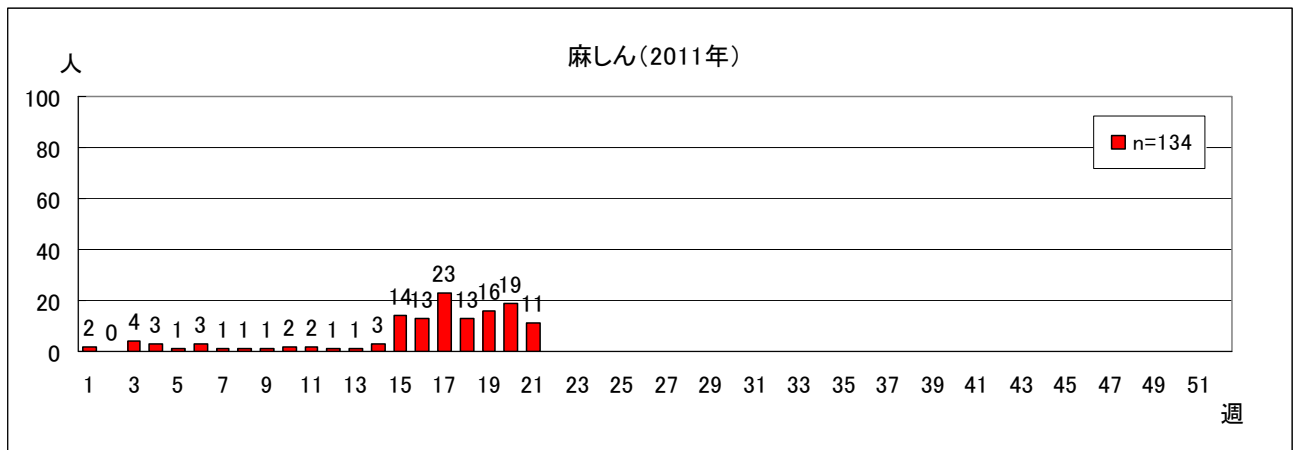


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2011年21週現在



## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
5/19	不明発しん(水痘含む)	7M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	遺伝子
5/16	突発性発しん疑い	8M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
5/16	アデノウイルス感染症疑い	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
5/18	突発性発しん疑い・咽頭炎	9M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
5/12	感染性腸炎	10M	糞便	アデノウイルス、ノロウイルス(GII)	
5/13	不明発しん(麻しん疑い)	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
5/14	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
5/17	アデノウイルス感染症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/17	急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/16	上気道炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
5/16	上気道炎・結膜炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
5/17	下痢	2	糞便	A群ロタウイルス	抗原
5/18	伝染性紅斑	2	咽頭拭い液	パルボウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型・7型	遺伝子
5/14	流行性耳下腺炎	3	咽頭拭い液	EBウイルス、ムンプスウイルス	
5/16	不明発しん	3	鼻汁	EBウイルス	
5/16	下痢・嘔吐	4	糞便	A群ロタウイルス	抗原
5/20	急性扁桃炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
5/19	アデノウイルス感染症疑い	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/12	気管支炎	6	鼻汁	ヒトメタニューモウイルス	
5/19	急性胃腸炎	7	直腸拭い液	アデノウイルス、サポウイルス	
5/23	咽頭結膜熱	7	うがい液	アデノウイルス	
5/17	急性咽頭結膜熱	8	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/16	インフルエンザ	14	咽頭拭い液	ライノウイルス	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm09*型
20週	0	0	1	0
2010-2011年 シーズン累計**	0	186	102	192

\* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記をAH1pdm09とします。

\*\* 2010-2011シーズンの開始は第36週(2010年9月6日～9月12日)

◇オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

5/27 現在

	感受性株	耐性株
AH1pdm09型 インフルエンザウイルス	146	2

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2011年							
		13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週
ウイルス	アデノウイルス	2	2	1	3	1	10		8
	ライノウイルス		2	4	6	1	1	3	3
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71						1		
	その他のエンテロウイルス							2	1
	単純ヘルペスウイルス		1						
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	3	1	3	9		1	7	7
	EBウイルス	1	5	2	2	1		3	2
	サイトメガロウイルス		2		1				
	ムンプスウイルス		1		1		2	3	1
	麻疹ウイルス							1	
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19	1		1	2	2	2	1	1
	RSウイルス		1	2					
	ノロウイルス					1			1
	ロタウイルス	2		6	7	1	1	4	2
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	3	1	5	5		2	1		
インフルエンザウイルスB	3	12	9	7	5	5	3	1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09		1	2	1					
デングウイルス(抗体を含む)				2					
その他のウイルス	2		5		1	3		2	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳			5	5				
	マイコプラズマ				2				
	その他の細菌			2	3				
その他の病原体									



病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2011年13週～2011年20週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数		74	18	51	38		13		4		2	8	26	11		1		99	
ウイルス	アデノウイルス		3	4	6		7		1				2					4	
	ライノウイルス	2	4	5	2								1	1				5	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス						2				1							1	
	単純ヘルペスウイルス																		1
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																		
	ヘルペスウイルス6/7			1	1							2	10				1		16
	EBウイルス	1	1	1										3	3				7
	サイトメガロウイルス																		3
	ムンプスウイルス														7				1
	麻疹しんウイルス													1					
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19												4	4					2
	RSウイルス		1	2															
	ノロウイルス				2														
	ロタウイルス				21														2
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	17																		
インフルエンザウイルスB	42		1			1												1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	3		1																
デングウイルス(抗体を含む)																		2	
その他のウイルス		1	8	3														1	
細菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳			10															
	マイコプラズマ			2															
	その他の細菌			5															
その他の病原体																			

## <感染症豆知識>

### 眼科感染症における留意点

東京都の感染症サーベイランス事業において、眼科疾患で対象となっているのは「急性出血性結膜炎」と「流行性角結膜炎」で、いずれも感染症法における五類感染症定点把握疾患に指定されている。

急性出血性結膜炎は、エンテロウイルス 70 もしくはコクサッキーウイルス A24 変異株を原因とするウイルス性結膜炎で、球結膜下出血が特徴である。1990 年代に沖縄や大阪で流行があつて以来、最近では発生が少なく、感染症サーベイランス週報でも定点あたり 0.1 人を割った数字が続いている。

流行性角結膜炎はウイルス性結膜炎で、通称「はやり目」と言われるほど感染力の強い疾患である。最近では通年性に発生し、2010 年は 0.46 人／週／定点だった。本症の原因はアデノウイルス(AdV)だが、このところ流行型が変化していることで注目されている。1955 年に原因は AdV8 型であることが判明し、長らく主原因となっていたが、1990 年代になって AdV19 型が多くなり、2000 年代に入ってから AdV37 型が台頭し 8 型は見られなくなってしまった。2009 年でも、東京都の眼科定点より搬入された本症の結膜ぬぐい液から同定された AdV は、そのほとんどが 37 型だった。AdV は遺伝子の組み換えにより新型ができやすらしく、最近、AdV53、54、56 型といった新しい型を原因としたものが発見された。今後の流行がどうなるか分からないが、原因となる AdV が多様化していることは間違いなく、その拡大には十分な注意を払う必要があると思われる。

(文責 福田眼科医院 福田敏雅)